

## フォーラム意見交換 来場者からのご意見（要約）

### ① 継続すべき

- ・条例がなく、基本計画や第三者機関(審議会)も存在しない状態では財団や楽団の今後を議論できない。行政がどうしたいのか明らかにする必要がある
- ・市と財団の説明が数字中心であるが、オーケストラはそもそも採算が取れない。音楽が人の心に与える影響や感動の声も評価対象とし、収益性と社会性の両面を同じ立場で議論すべき。
- ・身の丈に合った事業をしているのか疑問。経営者が適切に意思決定に関与しているのか、また、当初は小さく地元感があつた楽団の、規模拡大や団員増加が経営判断として適切だったのか。
- ・団員の質は高いが、市内の認知が下がってきているのでは。また、市内に雇用があり、(市外への)通勤時間が減れば、文化芸術に興味をもつ人も増えるのでは。楽団だけのあり方追求だけではなく、市民の暮らしの質の向上をもっと考えていただければ。

### ② 内容や金額を見直して継続すべき

- ・補助金は残すべきだが額の見直しが必要。市内企業を活用して協賛を募るべき。市は、補助金を突然ゼロにするのではなく段階的に減らすべき。
- ・神戸市民でも楽団の存在を知らなかった。ぴあのサイトの日本国内の楽団一覧にも掲載されていない。広報の改善余地がある。強いものが残るのではなく変わるものが残る。ぜひ神戸の楽団も変わっていただき、残っていただきたい。
- ・市内で合唱団を運営している。これまで演奏会のオケを市外に依頼していたが、よければ室内管弦楽団に依頼したい。合唱団にとってオケは憧れ。共演の機会があればそこからファンになっていく。学者や評論家などの高名な方だけでなく、アマチュアの方も向いて活動していただけたら。
- ・独立すべきではないか。現在の音楽監督は個性の非常に強い方。自分のやりたい音楽をやるのであれば、自立が必要。また、財団のマネジメント能力に疑問。さらに、市内の他団体にも予算配分が必要。

### ③ フォーラムを聴いて考えたい

- ・神戸市民に喜ばれる楽団であってほしい。京都市交響楽団はわがまちのオーケストラとして浸透しているし、ポップスとの共演などにも取り組んでいる。
- ・公的資金比率の高さを指摘されているが、市がオーケストラを作ったのは京都と神戸だけ。補助金の投資効率では神戸は京都よりいい。神戸市の活用が不足していたのでは。

### ④ 廃止すべき

- ・自身の団体は同じ室内オケであるが、補助金なしで活動している。(市の予算全体で言えば)助成制度が縮小しており、小規模団体の減少につながっているのでは。公金の使い方は見直すべき。また、補助金問題と楽団の継続は分けて議論すべき。補助金がなくとも楽団を継続させることを考えては。
- ・クラシックは理解に教養や経験が必要であり、若年層が少なく高齢化が顕著。クラシックを聴いてもらうための教育的プログラムが必要であり、市と一緒に仕組みづくりを行う必要があるのでは。